

NTT is

株主通信

2015 6 (June)

30

NTT

NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION



証券コード:9432

早わかり INDEX

表紙デザインを担当した海外クリエイター



カロリン・ロバート

ドイツのハンブルグを拠点に活躍するアーティスト。2003年からベルリン、ストラスブール、東京など世界各国のイベントに参加し、イラストレーターあるいはグラフィックデザイナーとしてのキャリアを蓄積。独自のテーマ設定や社会とのつながりを色濃く反映した詩的かつ力強いイラストにより、様々な雑誌や選集で才能を発揮。自然、音楽、人びと、詩、動物、歴史、科学など日常的に目に触れるもの全てをインスピレーションの源泉として様々な分野で創作活動を行っている。

<http://www.carolinloebbert.de/>

Top Message

中期経営戦略
「新たなステージをめざして2.0」を公表。
再び、利益成長軌道へ。

代表取締役社長
鶴浦 博夫



P.02

特集

R&Dフォーラム2015

Co-Innovation ～豊かで快適な2020をめざして～
2月19日・20日に開催された
「NTT R&Dフォーラム2015」についてご紹介します。

P.06

P.07

連結及び セグメント別の 業績概況 (2015年3月期)

特集

見えるNTT

NTTグループ 30周年の歩み
創立30周年を迎えたNTTグループの
変革の歩みと「これから」をご紹介します。

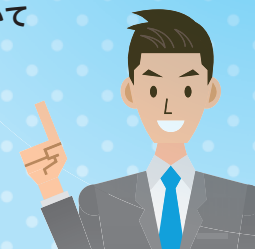
P.09

特集

株式分割に ついて

2015年7月1日付で実施する
株式分割について
をご紹介します。

P.11



P.12

配当金に ついて

配当の方針や
2016年3月期配当予想について
をご紹介します。

P.13

NTTグループの 動き

NTTグループの
2014年10月～2015年3月の
主なニュースをご紹介します。

P.14

IRイベント

直近3年間の
個人投資家さま向け
IR活動の実施状況を
ご紹介します。

トップメッセージ
Top Message

**中期経営戦略
「新たなステージをめざして2.0」を公表。
再び、利益成長軌道へ。**

代表取締役社長

うの うら ひろ お

鵜浦 博夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「株主通信 NTTis」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社は本年4月に民営化から30周年という節目を迎えました。株主の皆さまをはじめとした多くの皆さま方の永きにわたるご支援に深く感謝いたします。今後もお客さまから選ばれ続ける「バリューパートナー」をめざし、NTTグループの一層の発展と企業価値の向上に、全力を尽くしてまいります。

[2015年3月期の業績]

海外ビジネスの成長が牽引し、5期連続の増収を達成したものの、営業利益は減益となりました。

2015年3月期は、欧州のデータセンター事業者 e-shelter 社（本社：ルクセンブルグ）などのM&Aを推進し、グローバル・クラウドサービスの提供体制を強化するとともに、NTTグループ企業が一体となって海外における受注の獲得（クロスセル）に努めた結果、海外売上高は約1.6兆円まで拡大しました。

ネットワークサービスについても、移動通信事業における「新料金プラン」や固定通信事業における「光コラボレーションモデル」など、ユーザー基盤の着実な拡大に向けた取り組みを開始しました。

こうした取り組みにより、営業収益は、5期連続の増収を達成し11兆953億円となりましたが、営業利益は、移動通信事業における新たな取り組みによる減益影響などで、残念ながら1兆846億円と対前年▲1,291億円の減益という結果になりました。

[2016年3月期の業績予想]

6期連続の増収・過去最高収益を見込むとともに、増益基調への転換をめざします。

2016年3月期の営業収益は、海外ビジネスの更なる成長により6期連続増収の11兆3,500億円を見込んでいます。営業利益は、移動通信事業を回復基調に戻すとともに、固定通信事業やデータ通信事業の増益により、対前年+1,154億円の1兆2,000億円まで回復させてまいります。

これにより、EPS（1株当たり当期純利益）は595円を見込んでおり、現行の中期経営戦略で掲げてきた、対2012年3月期比でEPSを+60%以上成長させる目標を達成する見通しとなりました。

「新たなステージをめざして2.0」

これまでの取り組み

NTTグループは、2012年11月、中期経営戦略「新たなステージをめざして」を公表し、私ども自身も皆さまに選ばれ続ける「バリューパートナー」をめざしてグループ一丸となって取り組んできた結果、「事業構造の変革」は着実に進展してきています。

まず、グローバルビジネスについては、「グローバル・クラウドサービスを事業の基軸」とすべく、M&Aを梃子に、“チャレンジャー”として積極的にビジネスを展開してまいりました。多様なICTサー

ビスをお客さまのニーズに応じて、全世界でご提供できる体制の確立に向けて、多くの海外企業をNTTグループに迎え入れ、今後のビジネス基盤を確立してまいりました。

また、国内ビジネスについては、「ネットワークサービスの競争力強化」に向けて取り組みました。限られたシェアを奪い合う競争から、ユーザーにとって真の付加価値を競う競争への転換を図るため、他産業の事業者の皆さまとのコラボレーションを通して新しいサービスを生み出すための取り組みを着実に進めています。NTTドコモの「新料金プラン」や、NTT東日本・西日本の「光コラボレーションモデル」といった、これまでにない施策

の展開は、その第一歩であると考えております。

さらに、「2020」や「地方創生」を契機とした、新たなサービス創出へのチャレンジを開始いたしました。

これらの事業構造の変革に向けた取り組みは順調に進捗しており、中期経営戦略「新たなステージをめざして」で掲げた財務目標は、いずれも達成、もしくは達成の見通しが立ってまいりました。

NTTグループは、こうした取り組みを更に加速させるため、本年5月、中期経営戦略「新たなステージをめざして2.0」を策定し公表しました。

これまでの取り組み

▶グローバルビジネスの礎を築き成長の柱に

- “挑戦者”として海外ビジネスを拡大

▶コラボレーションによる新たな競争のステージへ

- お客さまに選ばれ続ける“パートナー”として、“イノベーションとコラボレーション”による多元的な競争モデルの実現に向けた新たな取り組みを開始
- 「ドコモ新料金」「光コラボレーションモデル」は、その第一歩

▶「2020」「地方創生」を契機とした高付加価値サービス/ビジネスモデル創出へのチャレンジを開始

財務目標（2012年11月発表）

EPS成長（対2012/3期）	60%以上	（2016/3期）
海外売上高	\$20B	（2017/3期）
法人売上高海外比率	50%以上	（2017/3期）
Capex to Sales	15%	（2016/3期）
コスト削減（固定/移動アクセス系） （対2012/3期）	▲6,000億円以上 →目標達成（▲6,500億円）	（2015/3期）

「2.0」の基本的考え方

▶“バリューパートナー”への自己変革を加速し、利益成長軌道へ

- 「グローバル・クラウドサービス」の利益創出スピードを加速
- 「ネットワークサービス」の収益力を強化

▶B2B2Xモデルを更に推進し新たな市場を開拓

▶EPS成長目標を再設定（700円以上*（2018/3期））

その他の財務目標をローリング *2015年7月1日を効力発生日とする株式分割を考慮前

新たな財務目標（2018/3期）

EPS成長	700円以上	〔連結営業利益 1.4兆円をめざす〕
海外売上高／営業利益*	\$22B/\$1.5B	
設備投資の効率化（国内ネットワーク事業**）	▲2,000億円以上	（対2015/3期）
コスト削減（固定/移動アクセス系）	▲6,000億円以上	（対2015/3期）

* 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

** コミュニケーションズのデータセンター等を除く

中期経営戦略「新たなステージをめざして2.0」

中期経営戦略「新たなステージをめざして2.0」でも、基本的な事業戦略は継続・強化してまいります。

「グローバル・クラウドサービス」は、事業の基軸として、利益創出のスピードを加速していきます。「ネットワークサービス」については、競争力を徹底的に強化することはもちろん、その収益力を強化していきます。

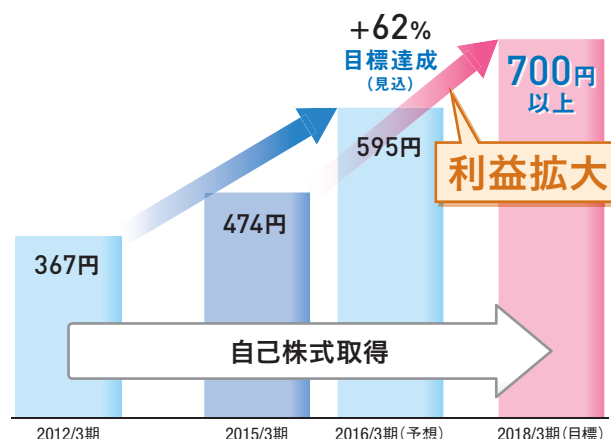
これらを両輪として、NTTグループ全体の利益を再び成長軌道へ乗せてまいります。

新たな財務目標の設定

● EPS成長

まず、最も重要な目標としているEPS成長については、2015年3月期の474円を2018年3月期に700円以上(+50%)に成長させます。この目標は、利益の

EPS成長



拡大による達成を主眼に取り組むこととしており、営業利益の1.4兆円への引き上げをめざすとともに、従来どおり自己株式取得などによる資本効率の向上も図りながら進めてまいります。

● 海外売上高/営業利益

2015年3月期に150億ドルに拡大した海外売上高は、M&Aと事業成長により、2018年3月期に220億ドルまで伸ばしていきます。加えて、海外事業の営業利益の目標を設定し、2015年3月期の7億ドルを、15億ドルへ倍増することにチャレンジいたします。

この目標の達成に向け、海外のNTTグループ企業を中心にワーキング・グループを立ち上げます。着実な海外売上高成長の実現や、徹底したコスト効率化、これらの施策を支える骨組みとなるグループガバナンスやリスクマネジメントの強化をテーマとして、海外ビジネスの利益創出の取り組みを加速してまいります。

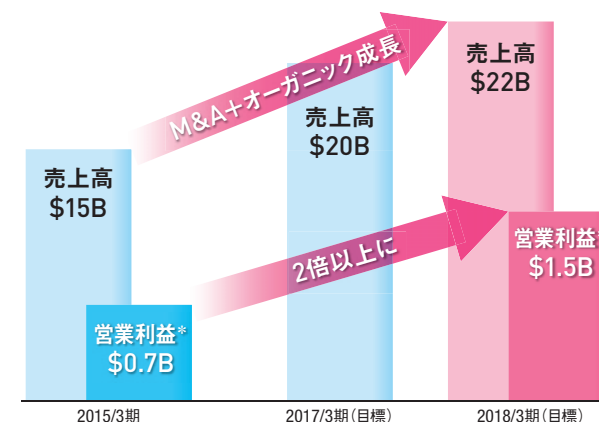
● 国内ネットワーク事業の効率化

国内ビジネスについては、ネットワーク事業の更なる効率化を進めてまいります。

NTTグループ各社でネットワークのシンプル化・スリム化などの効率的な設備投資を進めることに加え、グループ全体の設備の利用効率向上を図るとともに、調達コストの削減やITシステムの高度化・効率化を進めることにより、2015年3月期で1.4兆円の国内ネットワーク事業に係る設備投資額を、2018年3月期までに2,000億円以上削減します。

また、固定通信事業および移動通信事業に関するコスト削減にも引き続き取り組み、2016年3月期から2018年3月期までの3年で、6,000億円以上の削減を見込んでいます。

海外売上高/営業利益



*買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

国内ネットワーク事業の効率化

設備投資の効率化 ▲2,000億円以上
(国内ネットワーク事業、対2015/3期)

- ▶ 設備利用効率の向上
- ▶ 調達コストの削減
- ▶ ITシステムの高度化/効率化

コスト削減 ▲6,000億円以上
(固定/移動アクセス系、対2015/3期)

- ▶ ユーザーサービスの向上に向けたコストの見直し
- ▶ 今後の環境変化に応じたシンプルで高効率な業務運営の確立

固定通信事業は、減収傾向が今後も続くと想定していますが、効率的な事業運営により利益を維持・改善してまいります。移動通信事業は、今後伸ばしていく収益分野へのリソース投入を行いつつ、設備や販売の効率化の取り組みを強化いたします。

また、単に費用を削減することを目的とするのではなく、価格競争力を高めつつ、顧客満足度の向上も図ってまいります。さらに、B2B2Xモデルへの転換を踏まえたシンプルで高効率な業務運営体制を確立すべく、リソースのシフトやグループ企業の効率化などの取り組みも進めてまいります。

持続的な成長に向けて —B2B2Xモデルへの転換—

国内ビジネスの持続的な成長には、コスト削減だけでなく収益力の強化が必要です。この収益力の強化に向け、「2020」や「地方創生」を契機として、B2B2Xモデルへの転換を加速してまいります。

具体的には、B2B2Xモデルの基盤となる、セキュリティやIoT、ネットワーク仮想化といったNTTグループの経営資源である「コラボレーション・プラット

フォーム」の更なる強化を進め、様々な事業者の皆さまに使っていただきやすい基盤としていきます。

また、NTTグループ各社が参加する「2020・地方創生Value Partner LLP」を設立し、グループ横断的なプロジェクトにより、交通、観光、エネルギー、農業など、様々な産業分野の事業者の皆さまとパートナーリングを結ぶとともに、ICTを活用した地域発のサービスが創出されるよう自治体との連携を強化してまいります。

こうした取り組みを通じて、次世代に受け継がれ

るスタンダードとなるサービスを創出していきたいと考えております。

NTTグループは、“触媒”として様々な事業者の皆さまとコラボレーションし、付加価値の高いサービスの創出により、多様なプレイヤーが共存共栄できる新たなビジネスモデルを確立することで、来るべき「新たなステージ」において、更なる飛躍をめざします。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

持続的な成長に向けて

▶「2020」「地方創生」を契機としたB2B2Xモデルへの転換を加速

- コラボレーション・プラットフォームの強化(セキュリティ、IoT、ネットワーク仮想化 等)
- グループ横断プロジェクトによる幅広い事業主体とのパートナーリングを推進(交通、観光、エネルギー、農業 等)
- ICTを活用した地域発のサービス創出のため、自治体との連携を強化(例：福岡市との「包括連携協定」締結)
- 次世代に受け継がれるスタンダードとなるサービスを創出

▶パートナーとともに高付加価値サービスを創出、新たなビジネスモデルを確立(自らは“触媒”役へ)

経営陣のご紹介	取締役会長	代表取締役社長	代表取締役副社長	常務取締役	取締役		常勤監査役	監査役
	三浦 惺	鵜浦博夫	篠原弘道 澤田 純	小林充佳 島田 明	辻上広志 奥野恒久 栗山浩樹	廣井孝史 白井克彦 榊原定征	上坂 清 井手明子	友永道子 落合誠一 飯田 隆

Co-Innovation ～豊かで快適な2020をめざして～

R&D Forum 2015

2月19日・20日の2日間にわたり、NTTの研究成果を発表する「NTT R&Dフォーラム2015」を、NTT武蔵野研究開発センタで開催しました。

Dreamin'2020 ようこそ日本、ようこそ未来。

来たる2020年。日本を訪れる世界の人々へ向けて、こんなテクノロジーの「お・も・て・な・し」が……フォーラムで披露された近未来のテクノロジーの一端をご紹介します。

ニッポンの旅を楽しむ

▶高精度に被写体を認識・検索し、関連情報を提示
周囲の建物・史跡や店舗、商品などを高精度に認識し、観光コンテンツや店舗・商品情報などを利用者に提供します。



スマートフォンなどを通じて、利用者の希望する言語で情報が表示される

待ち時間や混雑なく動く

▶周囲の状況を即時に予測し、集団を最良ナビでもてなし
過去の混雑状況などから近未来の人流、混雑度を予測し、先回りして快適にナビゲーションします。



最も混雑が少ない導線を、ビッグデータ分析によってご案内(画面右端)

選手を目線で観る

▶高臨場なスポーツ観戦体験を実現
実際の選手や審判の目線に近い映像・音声を360度好きな視点で提供することが可能となります。



顔の向きに応じた映像と音が提示される臨場感あるデモ

安全な「食」を味わう

▶レーザーの光で食品の表示偽装を抑止
食品に含まれる元素を分析することで、表示偽装抑止・農産物の産地認証を可能とします。



センシング用レーザーを照射し、食品に含まれる同位体元素を分析

日々の健康管理に励む

▶着衣するだけで生体情報を測定
生体情報のモニタリングを活用し、トレーニングや健康管理、医療診断サポートへ展開できます。



東レと共同開発した機能素材hitoeを活用したウェア型の計測デバイス

気になる選手の“今”を知る

▶クラウドデータを解析し、タイムリーな情報を取得
観戦者が撮影した動画をつなぎ合わせることで、離れた場所で競技中の選手の情報がLIVE中継のように提供します。



目の前にいない選手のリアルタイム情報を表示

その興奮を世界中でわかちあう

▶あたかも競技場にいるかのような体験をあらゆる場所で感じることが可能

高精細3D映像で「競技場をまるごと」世界同時配信できる新技術『kirari!』

次世代映像圧縮技術、音の情報やゆがみなく圧縮する音響技術に加え、新たに超高臨場感メディア同期技術を組み合わせることで、遠隔地の複数会場向けに競技空間をまるごと伝送・再現します。

2020年には、平面ディスプレイの臨場感をはるかに超えるパブリックビューイングで世界中の観戦者がスポーツの感動を体感・共有できる世界をめざします。



『kirari!』による卓球競技の体感デモの様相
選手をホログラフィック映像で再現

連結業績概況と業績予想

2015年3月期 実績

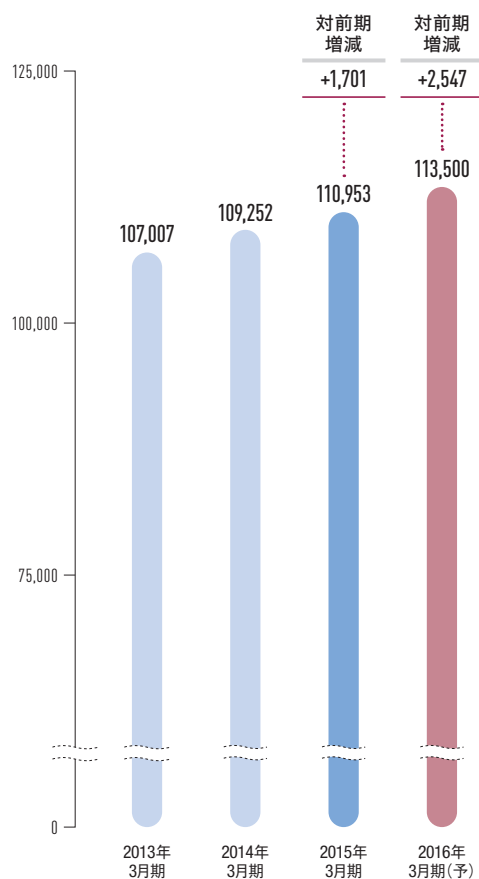
- 営業収益は、海外ビジネスの成長が牽引し5期連続の増収、営業利益は減益

2016年3月期 業績予想

- 営業収益は6期連続の増収、過去最高収益を見込む
- 営業利益は1.2兆円へ回復

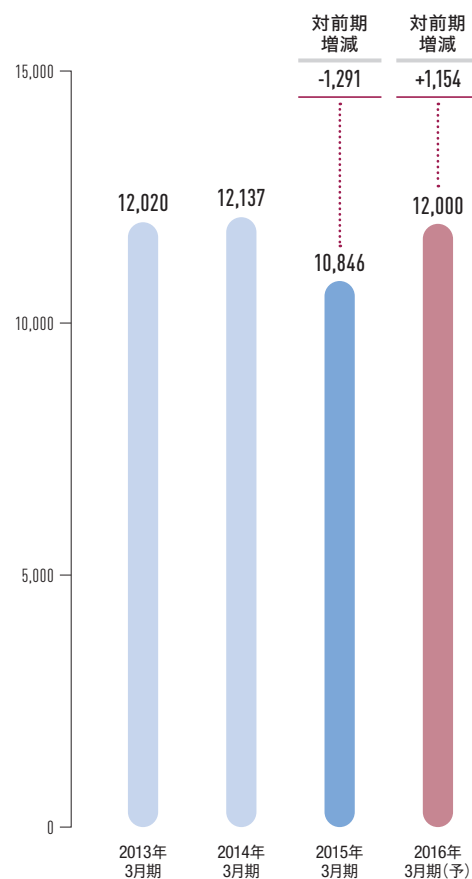
営業収益

単位: 億円



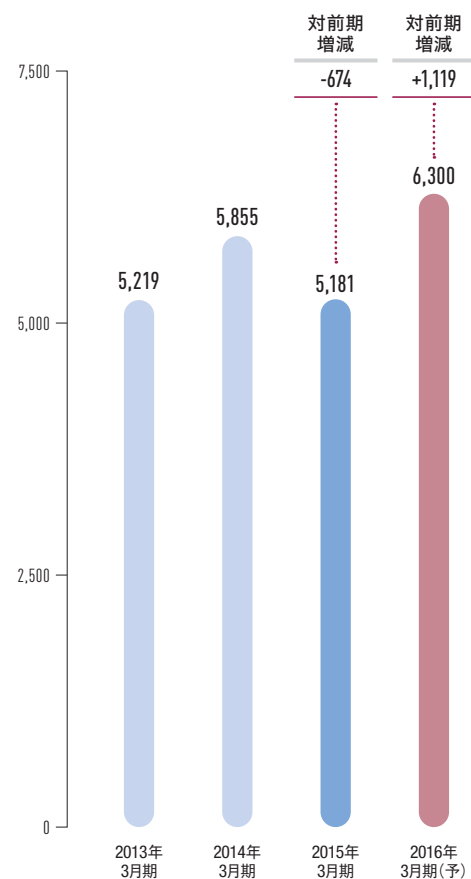
営業利益

単位: 億円



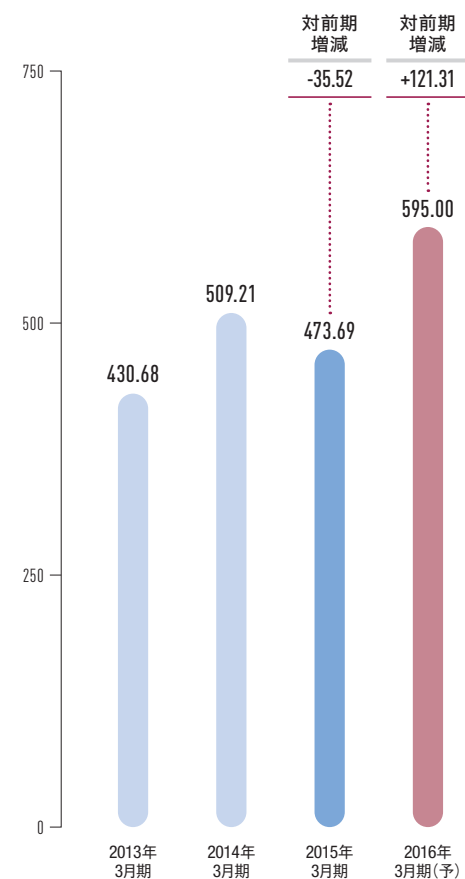
当期純利益

単位: 億円



EPS(1株当たり当期純利益)

単位: 円



セグメント別業績概況と業績予想

2015年3月期 実績

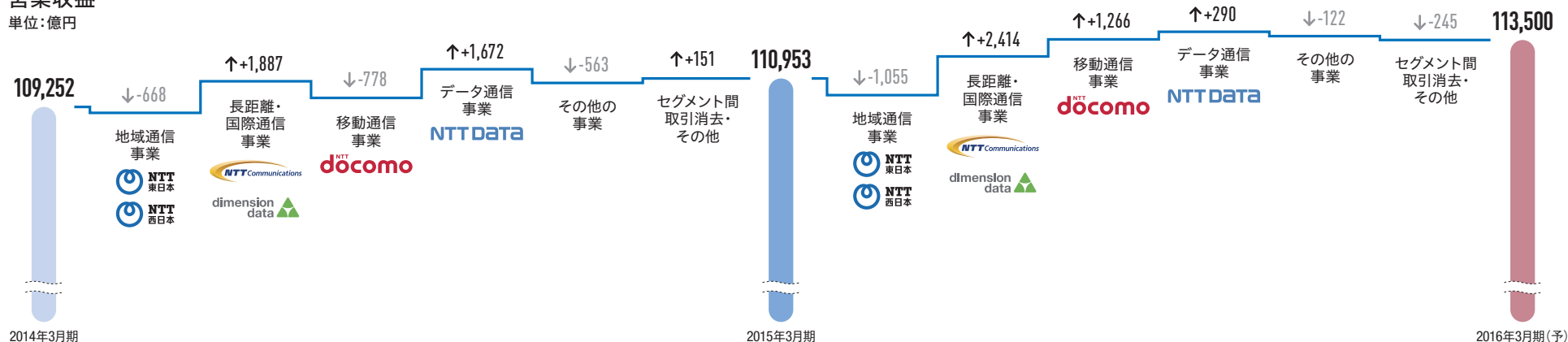
- 長距離・国際通信事業における海外ビジネスの成長により増収
- 移動通信事業は減益

2016年3月期 業績予想

- 海外事業の更なる成長により増収
- 地域通信事業と移動通信事業における効率的な事業運営により増益

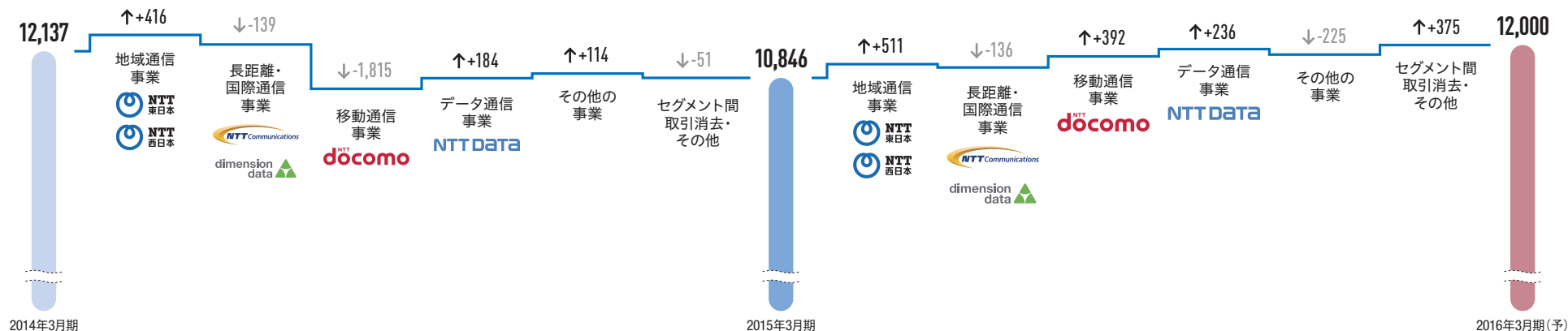
営業収益

単位:億円



営業利益

単位:億円



見えるNTT

NTTグループ 30周年の歩み

創立30周年という節目を迎え、お客さまに選ばれ続ける「バリューパートナー」へと変革を進めるNTTグループの「これまで」と「これから」をご紹介します。

■ NTTグループの出来事
■ 世の中の出来事

1990-1993

1991
東京03地域の市内局番を4ケタに一斉切り替え

1991
世界最軽量携帯電話「mova」の提供開始

1992
文部省が日本最初のホームページを公開

1994
日本の首相官邸がインターネットにつながる

1994-1997

1995
公衆電話のカード化100%を達成

1995
PHSサービスの提供開始
NTTが保有する通信衛星「N-STAR」を打ち上げ

1987-1989

1985
日本電信電話株式会社（NTT）設立

ショルダーフォン発売開始

1988
「INSネット64」の提供開始

1987
携帯電話サービスが始まる

1987
NTT株式の上場

1999
「iモード」の提供開始

1998-1999

NTTグループ
3カ年経営計画
「グローバル情報流通企業」への変革

2000-2003

2000
「フレッツ・ISDN」「フレッツ・ADSL」提供開始

2001
光アクセスサービス「Bフレッツ」の本格提供開始
「FOMA」の提供開始

2004-2008

NTTグループ 中期経営戦略
“光”による新世代のコミュニケーション環境の実現へ

2008
「フレッツ 光ネクスト」の提供開始

2007
携帯電話の加入契約数が1億を突破

2009
Android OS搭載のスマートフォン販売開始

2010
「LTE(Xi)」の提供開始

2010
Dimension Dataを子会社化

2009-2011

サービス創造
グループを目指して
IP系・ソリューションを軸とする事業構造へ

2012-2014

新たなステージをめざして
お客さまに選ばれ続ける
「バリューパートナー」へ

2012

携帯電話の加入契約数が
日本の総人口を上回る

2013

北米開発拠点
「NTT Innovation Institute, Inc.」の設立

新たなステージをめざして2.0
「バリューパートナー」への自己変革を
加速し、利益成長軌道へ

2015~

2015

NTTが東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会の
ゴールドパートナー(通信サービス)に決定

2015

「光コラボレーションモデル」の提供開始

地方創生

ICTの活用により日本
経済の活性化・地方
創生に寄与

光コラボレーションモデル

NTTの光アクセス
サービスを活用した、
新たな価値創造

セキュリティ

サイバー攻撃への対策や
セキュリティ人材の育成を進め、
万全のセキュリティ・マネジ
メント体制を整備

2020~

2020

東京2020オリンピック・
パラリンピック競技大会開催

当社株式の取引価格を引き下げることにより、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整えることを目的として、2015年6月30日付の株主さまが保有されている株式を対象に、2015年7月1日付で、1株を2株に分割することといたしました。

株式分割の概要

分割比率 1対2

分割基準日

2015年6月30日(火)

効力発生日

2015年7月1日(水)

▶ 分割による株式数の変化

例) 分割前にNTT株を100株保有している場合(株価:8,000円)

	保有株式数	保有株式の 総額	1株当たりの 価格	1単位(100株) 当たりの価格
分割前	100株	80万円	8,000円	80万円
分割後	200株	80万円	4,000円	40万円

Point 1

保有している
株式数が2倍に!

Point 2

保有しているNTT株の
資産価値は
変わらない!

Point 3

新聞などの
表示株価が
2分の1に!

Point 4

取引額が
分割前の
2分の1に!

よくあるご質問(FAQ)

株式分割を行った際に、いただくことの多いご質問にお答えさせていただきます。

Q1 現在、普通株式100株を保有している場合の株式数や価値はどうなりますか?

A1 普通株式100株は、株式分割により200株に増加します。また、100株当たりの株価は半分となりますが、200株を保有することとなるため株式分割前後で価値は変わりません。

例) 分割前にNTT株を100株保有している場合(株価:8,000円)

株式分割前に
保有していた100株が、
株式分割後
2倍の200株となります。

100株

NTT株式
100株 80万円

200株

NTT株式
200株 80万円
(100株 40万円)

Q2 株式分割に際して、何か手続きは必要ですか?

A2 手続きは一切必要ございません。

Q3 取引される株価が変更となるのはいつですか?

A3 2015年6月26日(金)*から、株式分割を考慮した価格で取引が開始されます。
*6月26日以降に当社株式を取引される場合、当該株式の受け渡しが7月1日の効力発生日以降となるため、東京証券取引所における取引価格は株式分割を考慮した価格となります。

2015年3月期の配当は、期末配当を1株当たり90円とし、中間配当90円(2014年12月支払)と合わせ配当を1株当たり年間180円といたしました。

2016年3月期の配当は20円増配し、1株当たり年間200円(株式分割前ベース)とする予定です。左頁の株式分割を考慮すると、1株当たり年間100円となります。

今後も安定性・継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況および配当性向などを総合的に勘案し株主還元の充実を図ってまいります。

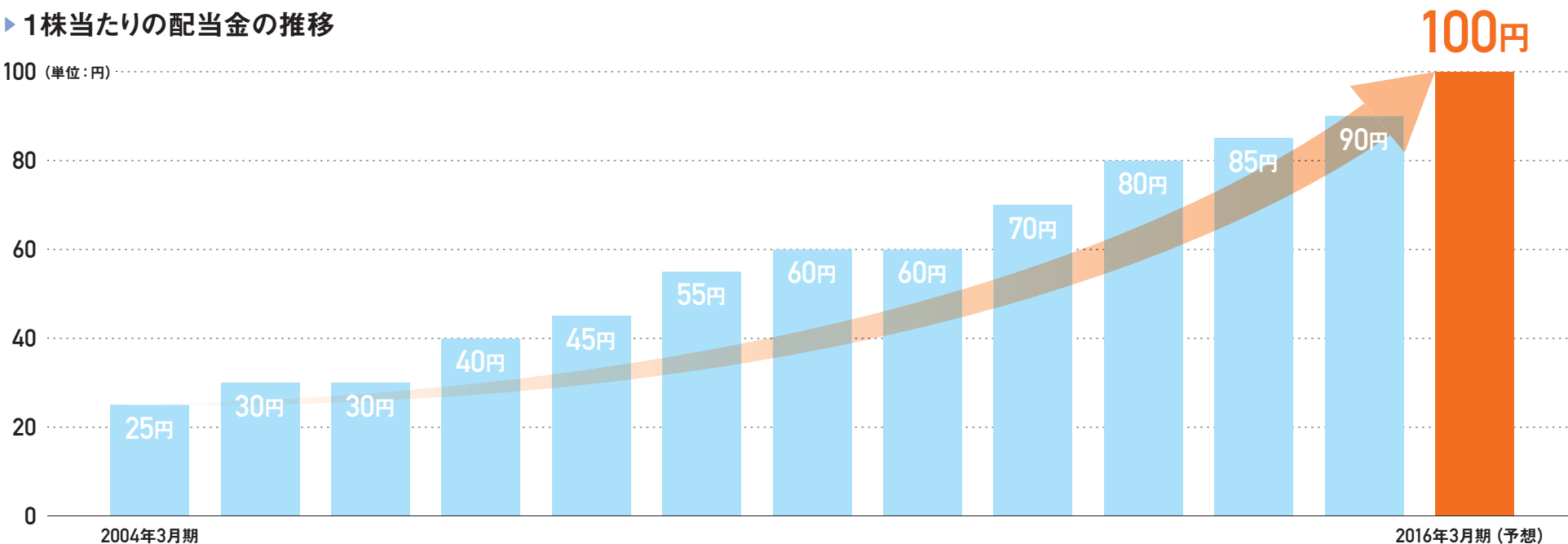
分割前 ベース	中間 配当金	期末 配当金	年間 配当金
2015.3月期 (実績)	90円	90円	180円
2016.3月期 (予想)	100円	100円	200円

※株式分割後は、保有株式数が2倍となるため、お受取りになる配当合計は変わりません。

分割後 ベース	中間 配当金	期末 配当金	年間 配当金
2016.3月期 (予想)	50円	50円	100円

▶ 1株当たりの配当金の推移

100 (単位:円)

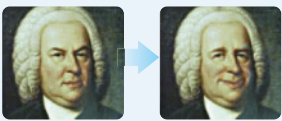


(注) 2009年1月3日を効力発生日として、普通株式を1株につき100株の割合で分割しました。さらに、2015年5月15日開催の取締役会において、2015年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割することを決議しました。上記のグラフに記載している2004年3月期から2016年3月期までの年間配当額は上記2回の株式分割後を考慮して記載しています。



NTTグループの動き

2014年10月～2015年3月のNTTグループの主なニュース

10月 October	2 NTTデータグループが米Symphony Management Consulting社を買収 ～米国における人材管理事業およびクラウド事業を更に推進～ 3 4Kによる映像配信サービス(VOD)を10月27日より提供開始 ～4Kによる商用の映像サービスは国内初～ PICK UP! NTTぶららが提供するスマートTVサービス「ひかりTV」において、約40,000本のビデオ作品(HD)に加え、270本以上(順次拡大予定)の4K映像による作品を、従来の料金体系のままでお楽しみいただけます。  ひかりTVのホーム画面	NTT DATA NTTぶらら	1月 January	8 NTTデータが独ダイムラー社のグローバルITパートナーに ～海外グループ会社と一体となりグローバルにおける自動車業界向けの事業拡大を進め、海外売上を拡大～ 26 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ゴールドパートナー(第1号)に決定 PICK UP! 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との間で、6年間に及ぶ日本代表に関するパートナー契約(通信サービス)を締結しました。グループの持つ通信・セキュリティ技術や通信サービスインフラを活用し、出場選手、関係者、ゲストの方々へ「最高のおもてなし」をめざします。  契約締結セレモニーで握手を交わす、東京2020組織委員会会長 森様とNTT 鷗浦社長	NTT DATA NTT NTT東日本 NTT西日本 NTT Communications docomo
11月 November	18 ミャンマー政府より「貿易手続き・通関システム」の開発を受注 ～経済成長著しい同国の貿易・通関業務を電子化・迅速化・効率化によって支援～ 19 「上海プードンデータセンター」のサービス開始～お客さまの要望に対応し、上海においてデータセンターを3拠点に拡大～ PICK UP! 急速に拡大する中国のデータセンター市場において、NTT Comが設計から運用まで、一元的に管理を行うことで、世界基準の高品質なサービスを低価格で提供します。  2014年11月20日より提供開始	NTT DATA NTT Communications	2月 February	1 「光コラボレーションモデル」の提供開始 ～NTT東西が提供している光アクセスサービスを、様々な事業者者に「サービス卸」として提供開始～ 18 世界初、写真や絵に動きを与える不思議な照明『変幻灯』を開発 ～人間の錯覚を巧みに利用し、かつてなかった視覚体験を実現～ PICK UP! 人間の視覚メカニズムを利用した新技術『変幻灯』によって、炎のゆらめきや風の印象など、動画のような動きを絵画や写真に加えることが可能になります。この『変幻灯』を、広告やインテリア、芸術・エンターテインメント分野で活用することにより、より豊かな映像表現を実現します。  『変幻灯』によって肖像画の表情が変化した様子	NTT東日本 NTT西日本 NTT
12月 December	1 LTE高速通信サービスが利用できる「OCN モバイル ONE」より音声通話が可能なる「音声対応SIMカード」を提供開始 ～音声対応SIMサービスとしては業界初、データ通信容量を複数のSIMカードでシェア可能～ 25 米トムソン・ロイターが選ぶ「Top100 グローバル・イノベーター」を4年連続受賞～NTT研究所が取り組む研究開発の先進性や成果がグローバルに評価～ PICK UP! 特許の数量や影響力などの指標をもとに、「独創的な発明のアイデアを知的財産権によって保護し、事業化を成功させることで、世界のビジネスをリードする革新的な企業」のトップ100社にNTTが選出されました。 	NTT Communications NTT	3月 March	3 ドイツ最大のデータセンター事業者e-shelter社の株式を取得 ～欧州大陸におけるクラウドサービスの競争力を強化～ PICK UP! NTT Comは、今回の株式取得により、欧州大陸で提供可能な高品質データセンターのサーバールーム面積を大幅に拡大し、急速に拡大する欧州のデータセンター市場の需要に対応します。これにより、NTT Comは世界規模でのICTソリューションの提供能力を強化し、お客さまの積極的なビジネス展開を支援してまいります。  在フランクフルト・データセンター外観 15 「第1回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」最優秀レジリエンス賞(通信部門)を受賞～熊本市と共同実施の「スマートひかりタウン 熊本」において地域住民と一体となった防災・減災の取り組みが評価～	NTT Communications NTT西日本



IRイベント

2012年4月～2015年3月の個人投資家さま向けIR活動実施状況

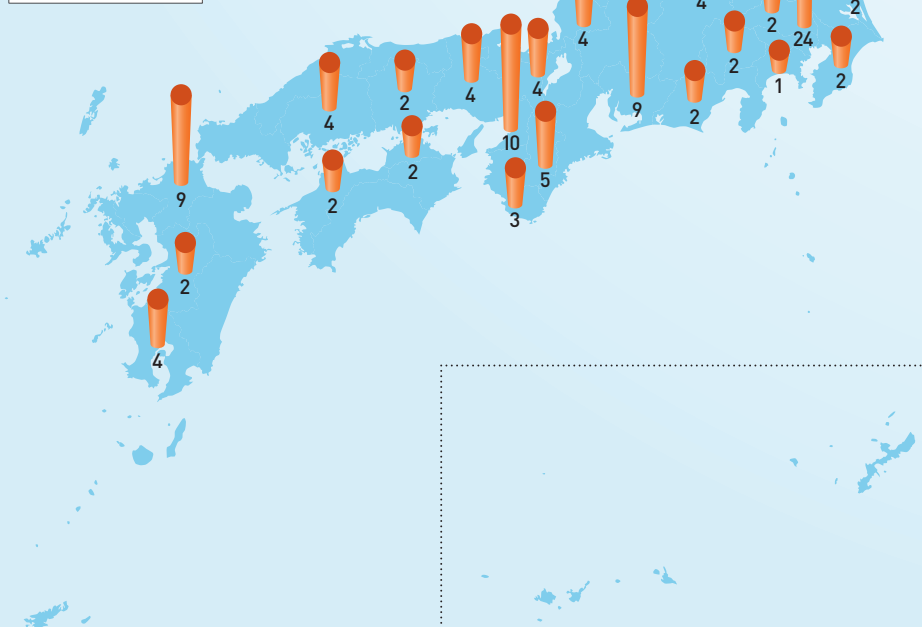
直近3年間の個人投資家さま向け説明会開催実績

当社は、2011年3月期より個人投資家さま向け説明会などのIRイベントを拡充してまいりました。

2013年3月期は全18回の開催でしたが、2015年3月期では東京、大阪、名古屋をはじめ、東北や北陸、九州など全国各地で、全66回にわたり説明会を開催するとともに、オンライン説明会やIRフェアへの出展にも取り組み、およそ3,600名の投資家の皆さまにご参加いただきました。

2016年3月期も、IRフェアやオンライン説明会などのIRイベントを通して、個人投資家の皆さまへの情報提供を強化してまいります。

※説明会の模様は、当社のホームページに掲載している動画でご覧いただけます。



開催件数

参加者数

直近3年間の
開催実績合計

131件

8,313名

株主の皆さまよりいただいたご質問の一部をご紹介します。

Q NTTグループのクラウドサービスにおける強みは何ですか？

A クラウドを提供するために必要なデータセンターやアプリケーションをフルラインナップで保有する総合力、ご提案からサービス提供までのプロセスをグループで完結できるトータルソリューション能力に加え、最新のセキュリティ技術もご提供できることに強みがあると考えています。

Q 東京2020において、NTTはどのような役割を担っていますか？

A 膨大な通信ボリュームのマネジメントやサイバー攻撃への対策など、大会を支える情報通信基盤の安心・安全・確実な運営に努めるだけでなく、ICTの活用を通じ、世界中のオリンピックファンが楽しめる大会の実現に貢献します。

その他にも様々なご質問、貴重なご意見をいただきました。

いただいたご意見などについては、今後の参考にさせていただき、より一層のサービス開発や業務効率化に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主・投資家の皆さま向けホームページのご案内

「株主・投資家の皆さま向けホームページ」では、個人投資家の皆さま向けのページをご用意しています。また、第30回定時株主総会の模様を動画配信しています。

「株主・投資家の皆さま向けホームページ」はこちら

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

NTT IR

検索





株主通信

2015 6 (June)

Cover Story



中心の地球はNTTの世界規模の事業展開、それを埋め尽くす様々な形状のラインやグラフィックはネットワークやクラウドといった幅広いサービスとそれを生み出すコラボレーションを意味しています。また鮮やかな色使いによって、民営化30周年を迎え、更なる成長へとまい進するNTTグループの勢いと将来成長を表現し、アートワーク全体をポジティブなイメージに仕上げています。

株式分割に関するお知らせを、
11ページに掲載しています。

→ 詳細はP.11へ

NTT
NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE
CORPORATION



証券コード: 9432



株主インフォメーション



住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社の口座に当社株式が
記録されている株主さま

→ お取引先の証券会社へお問い合わせください。

特別口座に当社株式が記録されている株主さま

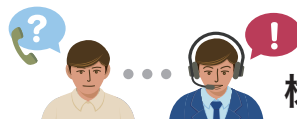
→ 当社特別口座管理機関の
三井住友信託銀行へお問い合わせください。

● 住所・氏名の表記について

住所および氏名などの文字のうち、証券保管振替機構が指定していない漢字などが含まれている場合には、その全部または一部を証券保管振替機構が指定した文字に置き換えさせていただくことがございますのでご了承ください。

● 未払配当金の支払について

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに三井住友信託銀行にお問い合わせください。



株主名簿管理人・特別口座管理機関 へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

■ NTT株主さま専用電話

0120-584-400

■ 代表電話

0120-782-031

■ 株主・投資家の皆さま向けホームページ

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

その他の各種お問い合わせ先

※ NTT東日本・NTT西日本

「電話サービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

116 (局番なし)

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

0120-116-116

午前9時～午後5時 年中無休(ただし年末年始を除く)

※ NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関する
お申し込み・お問い合わせは

0120-506-506

午前10時～午後7時 年中無休(ただし年末年始を除く)

※ NTTドコモ

ドコモの携帯電話からの場合

151 (局番なし)

(一般電話などからはご利用になれません。)

一般電話などからの場合

0120-800-000

午前9時～午後8時 年中無休



この冊子は環境にやさしい
植物油インキとFSC®森林
認証紙を使用しています。



見やすいユニバーサルデザ
インフォントを採用してい
ます。

日本電信電話株式会社